

発 行／志木市議会

〒353-0002

埼玉県志木市中宗岡1-1-1

TEL 048-473-1111 FAX 048-471-7091

編 集／議会だより編集委員会



乳幼児医療費助成の議案を可決 入院 中学生 通院 小学生まで拡大 市税等完納が大きな議論に！

平成21年消防出初式

平成20年第4回定例会が、11月28日から12月19日までの22日間の日程で開催され、市長から提出された条例・その他24件及び、陳情・決議・意見書各1件をそれぞれ審議し、3ページのとおりとなりました。

☆ 主な記事 ☆

- 年頭のごあいさつ 2
- 議案等一覧及び審議結果 3
- 一般質問・項目一覧 4～8
- 意見書・決議・議長交際費 9
- 議会からのお知らせ他 10

年頭のごあいさつ



志木市議会議長 鈴木 潔

新年に当たり、議会を代表いたしまして、ごあいさつを申し上げます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、平素より、議会に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、去年は、北京オリンピックにおける柔道、レスリング、水泳そしてソフトボールチームの金メダル獲得や日本人4人が同時にノーベル賞を受賞したことは、国民に明るい話題を提供いたしました。

一方、原油価格の高騰に伴う影響が市民生活に大きな負担を与えるとともに、世界同時の経済低迷の影響は、景気や雇用問題などに大きな影を落としています。

本年は昨年以上に厳しい年となることが予想されますが、様々な分野において、明るい話題で希望がもてるような年になることを願っております。

このような中であって、志木市議会では、昨年4月の選挙より、議員定数を19人から15人へと4人減数を行いました。したがって、15人の議員一人ひとりが市民の代表として自覚し、十分に機能を発揮し、市民の負託と期待に応えるよう広い視野に立って議会活動を行い、志木市の発展のため努力してまいります。

どうぞ、市民の皆様には、今後とも議会に対し一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

平成20年第4回志木市議会定例会議案等一覧及び審議結果

議案等番号	件名	審議の結果	採決の状況
第74号議案	志木市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
第88号議案	平成20年度志木市一般会計補正予算（第5号）	原案可決	賛成多数
第89号議案	平成20年度志木市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
第90号議案	平成20年度志木市館第一排水ポンプ場特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
第91号議案	平成20年度志木市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	賛成多数
第92号議案	平成20年度志木市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
第93号議案	志木市市民協働推進条例	原案可決	全会一致
第94号議案	志木市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例	原案可決	全会一致
第95号議案	志木市斜面地における建築物の構造の制限等に関する条例	原案可決	全会一致
第96号議案	志木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
第97号議案	志木市地域包括支援センター条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
第98号議案	志木市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第99号議案	志木市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
第100号議案	志木市市営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
第101号議案	志木地区衛生組合の規約変更について	原案可決	全会一致
第102号議案	指定管理者の指定について（志木市民会館）	原案可決	全会一致
第103号議案	指定管理者の指定について（フォーシーズンズ志木ふれあいプラザ）	原案可決	全会一致
第104号議案	指定管理者の指定について（志木市福祉センター）	原案可決	全会一致
第105号議案	指定管理者の指定について（志木市第二福祉センター）	原案可決	全会一致
第106号議案	指定管理者の指定について（志木駅前自転車駐車場・志木駅東口地下駐車場）	原案可決	賛成多数
第107号議案	指定管理者の指定について（柳瀬川駅前自転車駐車場）	原案可決	賛成多数
第108号議案	指定管理者の指定について（志木市民体育館・志木市武道館）	原案可決	全会一致
第109号議案	指定管理者の指定について（志木市立八ヶ岳自然の家）	原案可決	全会一致
第110号議案	工事請負契約の締結について（志木中継ポンプ場設備機器等更新工事）	原案可決	賛成多数
陳情第3号	学校予算の充実に係る陳情書	不採択	賛成多数
決議第1号	「仕事と生活の調和」が実現した社会の構築に関する決議	原案可決	全会一致
意見書第4号	「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書	原案可決	全会一致



市政の継続について

●議員 市長は前回の選挙に掲げたマニフェストで、①子育て支援、少人数学級、介護予防の充実、②安心・安全のまちづくりの推進、③公務員制度、自治制度の改革については、着実に成果を見せており、市民の多くが2期目の出馬を当然視していると思う。

平成21年6月に執行される市長選挙に出馬し、市政の継続を図ることは、有権者である市民が現市長を選ぶか否かは別にしても、市長の責務ではないかと考える。
そこで、改めて市政の継続について、市長に聞く。

●市長 市長就任以来、安心・安全で夢のある明るい志木市の実現を掲げ、さまざまな施策に取り組んできた。
現在、任期の最終年を迎え、災害に

今定例会の一般質問は、13名の議員が、市政全般の事務、諸問題に対し質問をしました。

市政運営について

強いまちづくり、市民の健康面での安心・安全づくり、財政の健全化を重点施策として市政運営に取り組んでおり、市民の評価を踏まえ、今後後援会や支持者とも相談し、正式に意思決定をしていく。

市庁舎の

耐震化問題について

●議員 平成20年6月定例会において、市庁舎の耐震化・建替えについて質問をしたが、その後「広報しき」に、「大地震が起きても市庁舎は大丈夫」と題してQ&Aが連載されるとともに、耐震改修、建替えについて検討されている。市民検討会議や庁舎検討プロジェクトチームの協議も踏まえ、今後の耐震化問題をどのように進めていくのか聞く。



市役所庁舎

●市長 庁舎の耐震化については、市全体として大きい行政課題であることから、市民と一緒にこの問題を検討するため、庁舎の耐震化問題を考える市民検討会議を設置し、現在活発に議論をいただいている。今後も広報などで周知するとともに、議会の意見を踏まえ最良の整備方針を定めていく。

一般質問 項目一覧

質問者は通告順。
質問は主なものを掲載しています。

山崎東吉議員

①市政の継続について②定額給付金の活用について

吉川義郎議員

①多重債務問題について②いじめ問題について③志木駅周辺違法放置自転車対策について

小山幹雄議員

①市庁舎の耐震化問題について②職員の喫煙制限について③交通安全対策について

志木市立市民病院について

●議員 (仮称) 総合健診センターの設置を進めてきたが、今議会に整備がおくれているとの報告があった。おくれた理由と現在の進捗状況及び、健診項目は何を想定しているか。

また、市民病院で子宮がん検診と乳がん検診を受ける場合、乳がんは市民病院、子宮がんは健診センターと場所が違ってしまふのか、同じ場所なら受診しやすいとの声を聞くが、受診率向上に向けてレイアウトはどうなるのか聞く。

●医療政策部長 平成21年度のスタートに向けた整備を進めている中、建築確認申請が埼玉県の審査において、時間を要したため工事期間を延長することになった。なお、審査において設計変更が生じ、現在詳細を詰めている。健診項目は特定健診、人間ドック、企業の健康診断、各種がん検診を予定している。

また、子宮がん検診の実施に向けては、健診室や機器類の整備を進め、女性が検診を受けやすいように配慮し、子宮がんと乳がんの健診室が隣接するように配置した。

来年度予算編成方針

について

●議員 平成21年度の予算編成方針の基本的な考え方を聞く。

また、具体的な施策について、①待機児童ゼロを目指す中で市の遊休地を活用した民設民営の保育園の設置や入園基準の見直しについて。②市民病院の医療健康施策の中で位置づけと経営状況の改善策について。③(仮称)総合健診センターの位置づけや障がい者就労支援センターの設置について。④公債費の圧縮について。⑤歩車道分離計画に基づく歩道の整備について。⑥市民協働の具体的な考え方について聞く。

●市長 予算編成は、市民サービスの向上と財政の健全化のバランスを図り、市民が将来に明るさを感じられるよう、施策の選択と集中を図る。待機児童ゼロを目指す施策は市の遊休地を活用した民設民営の保育園の設置について検討し、待機児童ゼロに向け取り組む。入園基準は市民の理解が得られるようにする。

市民病院を小児医療の基幹的病院として一層の充実を図るとともに病院事

業の費用を明確化し、経営改善を指示した。

(仮称)総合健診センターの整備を踏まえ、特定健診などの受診率の目標達成に努める。

障がい者の就労拡大や企業が障がい者を受け入れやすい環境づくりなど、志木市独自の障がい者就労支援センターの設置について検討していく。

公債費は財政の健全化を進め、将来に負担を生じないよう取り組む。

歩車道分離については、予算編成の中で箇所づけをする。

市民協働については、幅広い市民との協働事業を進めていく。

志木市の人口について

●議員 平成20年10月30日に志木市の人口が7万人を超えた。

しかし、少子化社会の中で、将来の志木市で、人口8万人になることはおろか、7万5千人すら困難であると推測する。このような社会環境の中で志木市の人口はいつごろ、何万人程度でピークを迎えるのか。

また、何万人程度で減少がとどまるのか、とまらないとすれば、人口減少をとめる政策は必要か、それとも社会の流れを受け入れるのか聞く。

磯野晶子議員

- ①志木市立市民病院について
- ②ワイス株式会社志木工場跡地について
- ③脳脊髄液減少症について

池田則子議員

- ①「みどりの学校ファーム(農園)」の導入について
- ②学校給食費滞納問題について
- ③長寿医療制度導入に伴う高齢者支援対策について
- ④妊婦健診の無料化を14回まで拡大する考えについて

●市長 現在、志木市の人口は約7万人であるが、本市の将来推計人口は、平成22年をピークと見込んでいる。豊かな自然と本市独自の地理的、文化的条件などの背景を踏まえ、第4次志木市総合振興計画の将来都市像である、みんなで作るみんなのふるさと、輝く志木市を実現するため、魅力あるまちづくりを進めていく。

志木駅周辺違法放置

自転車対策について

●議員 志木陸橋下の元駐輪場のスペースは、平面で500台から600台の自転車が置ける。天井が

高いので立体化をすれば千台の自転車を収容することが可能である。このスペースを志木市で借りて、NPO法人や指定管理にして有料駐輪場として運営させれば、市民に喜ばれる。

また、志木駅周辺の放置自転車対策にも大きな前進と考えるが、どうか聞く。

●市長 志木陸橋下については、行政

環境整備について

区は新座市であり、埼玉県が道路管理者となっている。現在、新座市において県から道路占用許可を受け、自転車駐車場として整備する方向で検討が進められていると聞いている。

国道463号線羽根倉橋西交差点に右折用矢印式信号機の設置について

●議員 川越市方面から富士見川越有料道路を左折し、羽根倉橋西交差点を右折する車が多く、さいたま市方面からの車両の切れ目を縫って右折して事故が発生している。

一方、秋ヶ瀬橋西交差点を見ると、朝霞市方面への右折用矢印式信号機が設置されており、事故もなくスムーズな流れとなっている。今後、富士見川越有料道路の無料化など、交通量の増加が考えられるが、交通安全対策について聞く。

都市整備部長

●都市整備部長 国道463号線の羽根倉橋西交

差点における右折帯は確保されているが右折用矢印式信号機は設置されていな

い。今後、



R463 羽根倉橋西交差点付近

富士見川越有料道路の無料化による交通の変化も予想されることから、朝霞警察署と協議していく。

新型インフルエンザ発生時の対応と準備について

●議員 H5N1型鳥インフルエンザの人への感染が増え続けており、致死率が非常に高い。埼玉県人口から換算すると、新型インフルエンザが流行した場合、約4分の1の人が感染すると予想され、医療機関を受診する患者数は最大で140万人と推定されている。

市として危機管理の準備はどこまで進んでいるのか。市民の皆さんへの情報提供の検討はしているのか。庁内で職員が感染した場合の対応策はどうなるか聞く。

市民生活部長

●市民生活部長 新型インフルエンザの感染者数は、本市では約一万七千五百人が想定され、重大な危機意識を持つて対応に臨んでおり、必要な対策を構築するために、各部長級職員や各学

校長を対象に研修を実施した。来年度の予算で、新型インフルエンザ対策行動計画を策定し、必要な物資の備蓄を進める。市民の皆さんへは、理解しやすい内容で発生段階に応じた情報提供を行う。

市職員の4分の1が感染した場合でも、市民サービスの低下を招かないよう体制の整備に取り組む。

池ノ内秀夫議員

①世界的な金融危機と企業業績の悪化など大不況に対する市の各種対応策について②荒川右岸築堤(かさ上げ)工事に伴う大雨等降雨時の「こけ水」(しみ出た水)対策として雨水側溝設置を国土交通省に要望する考えについて③国道463号線(通称、浦和所沢バイパス)羽根倉橋西交差点に右折用矢印式信号機の設置について④ワイズ株式会社志木工場跡地の開発について、株式会社社長谷工コーポレーションから、その後何か進展はあったか

伊地知伸久議員

①薬物乱用防止について②定額給付金の支給方法について③来年度予算編成方針について

254バイパスについて

●議員 平成20年9月から都市計画マスタープランの見直し作業が始まっており、全面的に書きかえられるという案が提案されているが、見直しの内容と今後について聞く。

平面案について、立体交差をする場所と平面交差をする場所の図面が提出されたが、これをつくるに当たって、志木市とはどのような協議が進められてきたのか。

交通量を254号バイパスに限って調査したところ、大幅に減ってきているが、この254号バイパスが本場に必要道路になるのか、志木市の考えを聞く。

●都市整備部長 マスタープランの見直し内容と今後については、策定から9年が経過し、中央通り停車場線の整備や一般国道254号バイパスの整備方針の決定、さらにワイズ工場跡地の出現など、情勢の変化に対応するため、見直しを行っている。平面案について県では、国道254号バイパス環境緩衝帯整備検討協議会において、関係する地区住民の意見を聞きながら整備をしていくとのことである。

254号バイパスについては、交通混雑の解消だけでなく、緊急災害時の重要な道路として計画されており、市としては、関係市町とともに国や県に早期整備を要請していく。

長寿医療制度導入に伴う 高齢者支援対策について

福祉問題について

●議員 75歳以上の方が国民健康保険から後期高齢者医療保険に移行することにより、健康診査等に問題が生じている。74歳までの国民健康保険加入者は、補助を受け自己負担五千円で人間ドックを受診できるが、後期高齢者医療保険の保険者は、埼玉県後期高齢者医療広域連合であり人間ドック等に補助がないために、75歳以上の方は自己負担五千円では受診できず、不公平である。75歳以上の方にも自己負担五千円で人間ドックが受診できるように市単独事業で補助すべきと思うが、どうか聞く。

●市長 後期高齢者医療保険の保険者は、埼玉県後期高齢者医療広域連合であり、被保険者の健康の保持、増進のための事業は、第一義的には保険者の責務であると認識しているが、人間ド



いろは保育園

ックについては、広域連合での実施が難しいと聞いており、高齢者の疾病の早期発見及び健康増進を図る観点から、人間ドックの受診補助については、来年度の予算編成の中で検討していく。

市内保育園運営の新たな 展望について

●議員 児童福祉審議会から保育園の民営化についての答申がされた。本市は公立6園を有しているが、その内3園は木造建築でもあり、耐震化問題などで建替えの必要もある。民営化の移行に関しては、今後の福祉政策を進めていく上で大きなウエイトを占めている。保育園の新たな運営方法について、市として積極的に方向性を示すべきと考えるが、これまでの内部の議論とあわせ、民営化を含めた今後の展望について聞く。

香川武文議員

- ① 市内保育園運営の新たな展望について
- ② 職員希望降任制度について
- ③ 親の学習の普及と推進について
- ④ 市内図書館施設における不明本、不明資料対策について

河野芳徳議員

- ① 新型インフルエンザ発生時の対応と準備について
- ② ふるさと納税の対応について

高浦康彦議員

- ① 来年度予算編成について
- ② 商工業者や労働者への支援策について
- ③ 労働者の雇用対策について
- ④ 職員の人事管理について
- ⑤ ワイズ株式会社志木工場跡地開発について
- ⑥ 教育予算（需用費・教材備品費）について

●市長 児童福祉審議会から答申を受け、庁内で検討を重ね平成21年度に向けて民間保育園の設置に向けた取り組みを推進していく。現在、市有地を活用した民設民営保育園の設置など、民間事業者が進出しやすい環境づくりについて検討している。

厚生労働省でも、保育ママ制度など新たな保育形態の動向も進められているので、これらの制度についても検討していく。

高齢者福祉について

●議員 志木市全体の高齢化率は、平成28年度に約23パーセントになるといふことであるが、館地区は約40パーセントである。志木市では高齢者保健福祉計画に向けて、きめ細やかな地域の実態に応じた高齢化率等を推計し、地域ごとの課題等も把握しながら、地域ぐるみで要望を見守り、ケアの仕組みづくりを行政、民間が一体となって推進していくべきと考えるが、いかがか聞く。

●市長 現在、志木市の高齢化率は約18パーセントであり要介護認定者の割

合は約10パーセントである。平成21年4月には、下宗岡に特別養護老人ホームが開所する予定となっている。今後とも介護予防を推進するため、地域包括支援センターの適正配置や介護と医療との連携、認知症予防など、高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画策定における議論を踏まえ、適正に位置づけていく。

教育問題について

教育予算

(需用費・教材備品費)

について

●議員 教育予算の修繕費は、5年前の約44パーセントまで削減した。修繕費削減によって備品の傷みはどうなっているか。教材は児童・生徒に十分行き渡っているのか。保護者の負担は重くないか。子どもたちに行き届いた教育を進めるに当り、来年度予算編成において、5年前の水準に戻すべきと考えるが、いかがか聞く。

●教育長 各学校においては、校長を中心に予算の適正な執行について協力をいただき、よりよい教育環境の整備に努めている。今後も、引き続き、各学校の実態に基づいた教育環境の整備充実に努めていく。



水谷利美議員

①教育問題について②(仮称)総合健診センターについて③指定管理者制度について④社会福祉協議会について⑤254バイパスについて

内山純夫議員

①志木市の人口について②市庁舎の耐震問題について③接続教育について④規範意識教育について⑤武道教育計画について⑥学校ファームについて⑦認定こども園について⑧公共の福祉と個人の権利について

天田いづみ議員

①まちづくりについて②高齢者福祉について③子育て支援について④特別支援教育について⑤学校給食について

「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書(要旨)

「協同労働の協同組合法」は、「働くこと」を通じて、「人と人のつながりを取り戻し、コミュニティの再生をめざす」活動が続けており、大変注目を集めている。しかし、現在この「協同労働の協同組合」には法的根拠がないため、社会的理解が不十分であり、団体として入札・契約ができない、社会保障の負担が働く個人にかかるなどの問題がある。

日本でも「協同労働の協同組合」の法制度を求める取り組みが広がり、8,000を超える団体がこの法制度化に賛同し、また、国会でも超党派の議員連盟が立ち上がるなど法制度化の検討が始まった。

よって、国においては、社会の実情を踏まえ、課題解決の有力な制度として、「協同労働の協同組合法」の速やかな制定をするよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成20年12月19日

埼玉県志木市議会

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣
総務大臣・厚生労働大臣・経済産業大臣

「仕事と生活の調和」が実現した社会の構築に関する決議 (要旨)

近年、人々のライフスタイルや価値観が多様化する中で、働きや子育て支援などの社会的基盤は、必ずしもその変化に十分対応できるものとなっていない。

政府と労使間の合意の下、昨年12月に「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」が策定され、「仕事と生活の調和」は重要な課題となっている。

本市でも「仕事と生活の調和」を推進するため、これまで様々な取り組みや支援を行ってきたところであるが、非正規雇用者の増加と、正規雇用者に見られる長時間労働の高止まりといった働き方の二極化は、いっそう進行している現状にある。

よって本市は、「仕事と生活の調和」が実現した社会を構築するため、憲章及び行動指針を踏まえ、さらなる取り組みを推進するよう強く要望し、決議する。

平成20年12月19日

埼玉県志木市議会

議長交際費 (10月~12月)

支出日	件名	支出額
11月30日	平成20年度志木市スポーツ少年団指導者交流会	5,000円
12月4日	進藤倭之輔元市助役ご葬儀香典	10,000円
12月4日	進藤倭之輔元市助役ご葬儀生花	15,000円
12月5日	平成20年度町内会連合会役員忘年懇親会	7,000円

☆☆ 行政視察 ☆☆

総務常任委員会

平成20年10月28日(火)～30日(木)

霧島市 「霧島・元気なふるさと再生事業」について
八代市 「市立病院中期経営計画」について



総務常任委員会視察（八代市）



文教都市常任委員会視察（宇土市）

文教都市常任委員会

平成20年10月28日(火)～30日(木)

太宰府市 「太宰府まるごと博物館」について
「景観まちづくり市民会議」について
宇土市 「水道ビジョン」について
「食育推進計画」について

市民福祉常任委員会

平成21年2月4日(水)～6日(金)
福岡市ほかを視察予定



インターネットで定例会の会期日程や 一般質問一覧、議会だよりが見られます

各定例会(3, 6, 9, 12月)の開会前に会期日程(案)を、開会後には一般質問一覧、また、議会だよりをインターネットホームページ (<http://gikai02.kaigiroku.jp/shiki/>) で、掲示します。ご覧ください。

**平成21年第1回定例会は
2月20日開会予定**です。
どうぞ、傍聴にお越しく下さい。

あなたのパソコンで、 議会でのやりとりが検索できます

志木市公式ホームページの「志木市議会」の中に「議会の会議録の検索・閲覧」(会議録検索システム)を開設しています。ご覧ください。

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/shiki/shiki.html>

また、会議録は市役所1階市政情報コーナーや市内各図書館・公民館図書室でも閲覧できます。

本号に掲載した定例会の会議録発行・会議録検索システムの更新は2月上旬の予定です。